

令和6年度決算の概要について

公立大学法人和歌山県立医科大学

1 はじめに

和歌山県立医科大学は、平成18年4月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回で19回目の決算を実施し、令和6年度の財務諸表について、令和7年8月19日付けで設立団体の長である和歌山県知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づいて作成したものであり、本学の財政状態と運営状況を示すものです。

2 財務諸表の概要について

(1) 貸借対照表

貸借対照表は、本学の財務状態を明らかにするため、決算日におけるすべての資産、負債及び資本を記載し、表示するものです。

①資産合計額は、約804億1千1百万円です。

土地、建物、器具等の固定資産合計は、約584億1千3百万円です。

現金及び預金、未収入金等の流動資産合計は、約219億9千8百万円です。

②負債合計額は、約196億8千7百万円です。

県からの長期借入金等の固定負債合計は、約71億1千1百万円です。

寄附金債務（翌年度へ繰り越す未執行の寄附金）、未払金等の流動負債合計は、約125億7千5百万円です。

③純資産合計額は、約607億2千4百万円です。

資本金は、県から出資された土地及び建物で、約592億9千6百万円です。

資本剰余金は、減価償却相当累計額等によるもので、約83億7千9百万円のマイナスとなります。

利益剰余金は、約98億7百万円です。

(2) 損益計算書

損益計算書は、本学の運営状況を明らかにするため、一会計期間に属する本

学のすべての費用とこれに対応する収益とを記載し、表示するものです。

①経常費用の合計額は、約468億1千万円です。

主な内訳は、教育経費約8億7千8百万円、研究経費約10億7千1百万円、診療経費約233億1千6百万円、人件費約195億3千6百万円及び一般管理費約6億円です。

②経常収益の合計額は、約455億5千1百万円です。

主な内訳は、県からの運営費交付金収益約60億4千6百万円、授業料収益約8億1千万円及び附属病院収益約356億5千2百万円です。

③経常収益と経常費用の差額、約12億5千8百万円が経常損失です。

④経常利益、臨時損失、臨時利益、目的積立金取崩額を合計した当期総損失は、約12億7千1百万円です。

(3) その他の主要諸表

①純資産変動計算書

一会計年度における純資産（資本金、資本剰余金、利益剰余金）の変動の内訳を表示するものです。

②キャッシュ・フロー計算書

一会計年度におけるキャッシュ・フロー（資金の収支状況）を活動区分別に表示するものです。

③損失の処理に関する書類

本学の当期末処理損失、損失の処理額及び次期繰越欠損金を明らかにするため表示するものです。

④注記事項

重要な会計方針等、必要な会計情報を表示するものです。

⑤附属明細書

貸借対照表、損益計算書等の内容を補足する情報を表示するものです。

3 決算報告書の概要について

令和6年度の年度計画の予算額に対して、決算額を表示するものです。

収入の合計は、約498億2千万円です。

支出の合計は、約504億5千9百万円です。

4 事業報告書の概要について

令和6年度の財務諸表の概要及び事業の実施状況を表示するものです。

5 最後に

令和6年度決算では、附属病院収益が増加したものの、補助金収益の減少や人件費等が増加したことから、約12億5千万円の経常損失を計上することになりました。

令和6年3月に策定した経営改善計画に基づき、引き続き、経営基盤の強化に取り組んでいきます。